

第26回一関地区広域行政組合一般廃棄物処理施設整備検討委員会会議録

- 1 会議名 第26回一関地区広域行政組合一般廃棄物処理施設整備検討委員会
- 2 開催日時 令和4年3月1日（火）午後1時30分から午後3時
- 3 開催場所 一関市役所特別会議室
- 4 出席者
 - (1) 委員 石川隆明委員長、齋藤清壽副委員長、千葉敏紀委員、
千葉光祉委員、菅原幹成委員、村上秀昭委員、
千葉晃委員、菅原彰委員
 - (2) 事務局 小野寺啓事務局次長兼総務管理課長、
吉田健総務管理課長補佐兼施設整備係長、石川勝志総務管理課主任主事
Web参加 一般財団法人日本環境衛生センター5名（以下、日環センター）

5 議 事

- (1) 施設整備基本計画について
 - ① エネルギー回収型一般廃棄物処理施設整備基本計画について
 - ② 一般廃棄物最終処分場整備基本計画について

(2) その他

6 公開、非公開の別 非公開

7 協議内容

(1) 施設整備基本計画について

事務局 本日は、これまで検討していただいていた2つの施設整備基本計画について、案をとりまとめたので確認をお願いしたい。検討委員会としての基本計画の案をまとめる段階になる。検討委員会です承をいただければ、その後の住民説明会で説明をして意見をいただいていくことになる。

委員長 この基本計画の位置づけと今後どのような役割を果たしていくのかについてまとめた資料を作成して、後日配布してほしい。

委員 両基本計画の策定の目的で、新処理施設の方には最後にただし書きで、この基本計画における基本的な事項の考え方については、施設の仕様の細部を検討する段階において必要に応じて見直しするという記載があるが、新最終処分場の方には記載がない。新最終処分場の方にも同様の記載を加えてもよいのではないか。

事務局 両施設でこの基本計画の位置づけが若干違うためこのような記載としていたが、再検討させていただく。

委員長 エネルギー回収型一般廃棄物処理施設の計装設備のところだが、フルオートの

場合とマニュアルの場合とでは計装装置が変わってくると思うが、基本的には何を想定した内容となっているのか。

事務局 昔の施設はほとんどがマニュアルであり、経験を基に運転管理するというところがあった。今はごみ質をほぼ均一に投入できるような状況になっており、それに合わせてフルオートではないがセミオートくらいのレベルとなっている。従ってマニュアル運転もできるが、オートの部分が大部分を占めている。運転人員は昔に比べ3分の2から半分くらいまで減員して運転できる状況になっている。

事務局 計装設備には、設備をオートマチックな運転にすること、それから運転状態を記録すること、異常状態を知らせることという機能がある。昔の施設にはこのような自動機能はなかったため、手動で操作し、各データを記録していくということをやっていたため100人くらいのオペレーターがいた。こうした機能を入れることによって現在は半分くらいの人員になっているので、人件費の面でかなり運営費は安くなっている。ただし、どこまで自動化するかは検討が必要である。

委員長 最終処分場について、第1期で下側から埋立てしていくことになると思うが、上流からの雨水はどのように処理するのか。第2期分のエリアからの雨水処理はどのようにするのか。

事務局 埋立地の中に入らないように、周辺に排水設備を設けて流す計画である。

委員長 新処理施設整備基本計画の概要版に記載のある建設費については、リサイクル施設分は含まれていないという理解でよいのか。配置図上のどの部分の建設費用か説明が必要に思う。新最終処分場も同様である。第1期分の建設費となっているが緑地帯の分まで含まれているのか。

事務局 新処理施設分はお見込みのとおり、リサイクル施設分は含まれていない。最終処分場については埋立地エリアの分のみで、緑地帯及び第2期分の建設費は含まれていない。

委員長 両市町とも、財政計画において当事業費をある程度見込んでいると思うが、そのあたりの事業費が大きく変わるような場合は確認していく必要があると思う。

委員 現在の当方の財政計画では、組合から提供されている数値で見込んでいるが、そのときの数値からあまり大きくずれていなければ、財政計画上は見込んでいるという説明ができると思う。

(2) その他

事務局 ごみ資源化ワーキンググループを設置していたところだが、全2回の会議を昨日終了した。提案として3件ほどあがっているので報告させていただく。資源化、

減量化するためにどのような仕組みにすればよいか、ごみを排出から収集までの各場面でいろいろなアイデアを出していただき、効果なども考慮してまとめたという状況である。具体的な提案内容については次回に報告させていただくが、提案のあったものとしては、衣類の計画収集、資源物のコンテナ回収、ゴミ袋の有料化などがあったところである。

8 担 当 課 総務管理課